

建築物移動等円滑化基準チェックシート2 (共同住宅用)

シート2 (共同住宅用)

平成22年3月改訂版

令：バリアフリー令 (高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令 政令第379号平成18年12月20日施行)

条例：建築物バリアフリー条例 (高齢者、障害者等が利用しやすい建築物の整備に関する条例 平成18年12月20日改正)

多数の者(令第23条・条例第13条による読み替えにより)が利用する建築物特定施設 (移動等円滑化経路、特定経路を含む)				
建築物特定施設 条: 条例付加規定	チェック 欄	建築物移動等円滑化基準(一般義務基準)	緩和 措置	
廊下等 令11		表面は粗面、又は滑りにくい仕上げ		
階段 令12、条例6	1	手すりの設置(踊場を除く)		
	条	2	踊場に手すりの設置	1
		3	表面は粗面、又は滑りにくい仕上げ	
		4	踏面の端部とその周囲とを色の明度、色相又は彩度の差が大きいことで段を容易に識別可能	
		5	段鼻の突き出しその他つまずきの原因となるものを設けない構造	
		6	主たる階段は回り階段でないこと	2
		7	けあげ18cm以下、踏面26cm以上	1
		8	階段の幅 120cm以上	1
傾斜路(屋内) 令13	1	勾配1/12を超え又は高さ16cmを超える傾斜がある部分に手すりの設置		
	2	表面は粗面、又は滑りにくい仕上げ		
	3	前後の廊下等とを色の明度、色相又は彩度の差が大きいことでその存在を容易に識別可能		
便所(※1) 令14 条例7	1	次に掲げる基準に適合する便所を一以上設置(男女別の場合はそれぞれ)		
	①	車いす使用者用便房(※4)を一以上設置		
		水洗器具(オストメイト対応)が設置されている便房を一以上設置		
		小便器を設ける場合、床置き式(壁掛式は、受け口の高さ35cm以下)を一以上設置		
条	3	床の表面は粗面、又は滑りにくい仕上げ		
浴室等(※2) 条例8	1	床の表面は粗面、又は滑りにくい仕上げ		
	2	次に掲げる基準に適合する浴室等を一以上設置(男女別の場合はそれぞれ)		
	①	浴槽、シャワー、手すり等の適切な設置		
	②	車いす使用者等が円滑に利用できる空間の確保		
	③	出入口の幅(開放時有効)85cm以上		
条	④	戸は自動的に開閉する他車いす使用者が容易に開閉し通過可能な構造とし、その前後に高低差なし		
敷地内通路 (屋外) 令16	1	表面は粗面、又は滑りにくい仕上げ		
	2	段がある部分は次に掲げるもの		
	①	手すりの設置		
		踏面の端部とその周囲とを色の明度、色相又は彩度の差が大きいことで段を容易に識別可能		
		段鼻の突き出しその他つまずきの原因となるものを設けない構造		
	3	傾斜路は次に掲げるもの		
	①	勾配1/12を超え又は高さ16cmを超え、かつ、勾配1/20を超える傾斜には手すりの設置		
		前後の通路との色の明度、色相又は彩度の差が大きいことでその存在を容易に識別可能		
駐車場(※3) 令17 条例9	1	車いす使用者用駐車施設を一以上設置		
	①	幅 350cm以上		
		車いす用駐車施設から利用居室までの経路の長さができるだけ短くなる位置		
条	2	車いす使用者用駐車施設又は付近に利用居室までの経路についての誘導表示を設置		
標識 令19	1	移動等円滑化措置済みEVその他の昇降機、便所、駐車施設付近に存在を表示する標識(※5)を設置		
案内設備 令20	1	建築物又はその敷地に下記の案内設備を設置		
	①	移動等円滑化の措置済みEVその他の昇降機、便所、駐車施設の配置を表示した案内板等の設置	3	
		移動円滑化措置済みEVその他の昇降機、便所の配置を点字等(※6)で視覚障害者に示す設備の設置		
		案内所の設置(①、②の代替措置)		

特定経路とは? (条例第11条第1項)	道等から各住戸までの一以上の多数の者が円滑に利用できる経路 (地上階とその直上・直下階のみに住戸がある場合は、地上階にあるもののみ)
------------------------	---

特定経路を構成する建築物特定施設 (特定経路に追加される基準)			
建築物特定施設 条: 条例付加規定	チェック 欄	建築物移動等円滑化基準 (特定経路)	緩和 措置
段差の禁止 条例11②一	条	1 特定経路上には、階段又は段を設けない ⇒ 傾斜路、EVその他の昇降機を併設する場合を除く	
出入口 条例11②二	条	1 幅(開放時有効)80cm以上	
	条	2 戸は自動的に開閉する他車いす使用者が容易に開閉し通過可能な構造とし、その前後に高低差なし	
廊下等 条例11②三	条	1 幅 120cm以上	
	条	2 50m以内ごとに車いすの転回に支障のない構造	
	条	3 戸は自動的に開閉する他車いす使用者が容易に開閉し通過可能な構造とし、その前後に高低差なし	
傾斜路(屋内) 条例11②四	条	1 幅 120cm以上 (階段に併設する場合は90cm以上)	
	条	2 勾配 1/12以下 (高さ16cm以下の場合は、1/8以下)	
	条	4 高さが75cmを超えるものは、75cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊場を設置	
	条	5 両側に側壁又は立上りの設置	
	条	6 始点、終点に車いす使用者が安全に停止できる平坦な部分の設置	
	エレベーター 及び昇降ロビー 条例11②五	条	1 各住戸、車いす使用者用便房、車いす使用者用駐車施設のある階、地上階に停止すること
条		2 かご・昇降路の出入口の幅(開放時有効)80cm以上	
条		3 かごの奥行き 115cm以上	
条		4 乗降ロビーは高低差なく、幅及び奥行き 150cm以上	
条		5 かご及び乗降ロビーに、車いす使用者が円滑に利用可能な位置に制御装置の設置	
条		6 かご内に、停止予定階、かごの現在位置を表示する装置の設置	
条		7 乗降ロビーに、到着するかごの昇降方向を表示する装置の設置	
敷地内通路 (屋外) 条例11②七	条	1 幅 120cm以上	
	条	2 50m以内ごとに車いすの転回に支障のない場所の設置	
	条	3 戸は自動的に開閉する他車いす使用者が容易に開閉し通過可能な構造とし、その前後に高低差なし	
	条	4 傾斜路は次に掲げるもの	
	条	① 幅 120cm以上 (階段に併設する場合は90cm以上)	
	条	② 勾配 1/12以下 (高さ16cm以下の場合は、1/8以下)	
	条	③ 高さが75cmを超えるもの(勾配が1/20を超えるものに限る。)、75cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊場を設置	
	条	④ 両側に側壁又は立上りの設置	
条	⑤ 始点、終点に車いす使用者が安全に停止できる平坦な部分の設置		
特殊な構造又は使用形態の昇降機 条例11②六	条	平成18年国土交通省告示第1492号に規定する構造であること	

- ※1 多数の者が利用する便所を設ける場合
- ※2 多数の者が利用する浴室等を設ける場合
- ※3 多数の者が利用する駐車場を設ける場合
- ※4 国交省告示第1496号(腰掛便座、手すり等を適切に配置、車いす使用者が円滑に利用できる十分な空間が確保されている便房)
- ※5 国交省令第113号(高齢者、障害者等が見やすい位置に設置、表示すべき内容が容易に識別可能なもの(JIS Z8210に適合するもの))
- ※6 国交省告示第1491号(①文字等の浮き彫り、②音による案内、点字及び①②に類するもの)

緩和措置

- 1 建築物バリアフリー条例第6条第2項(高齢者・障害者等利用階段を除き、移動等円滑化経路構成のEV・乗降ロビー併設置の場合は適用外(階段の手すりは踊場のみ適用除外) 建築基準法施行令第25条にも階段の手すりの設置規定あり)
- 2 バリアフリー令第12条6号(回り階段以外の空間確保困難であるときを除く)
- 3 バリアフリー令第20条第1項(当該EVその他の昇降機、便所、駐車施設の配置を容易に視認可能な場合を除く)

多数の者が使用する 便所、駐車場、集居室等 がある場合	建築物、敷地内に左記の建築物特定施設や利用居室を設ける場合、 当該施設までの移動等円滑化経路のチェックが必要 (チェックシート1 右欄を添付)
-----------------------------------	---